

なりすな

第2号

2020年6月12日発行

●「人種差別反対」を訴えたアメリカでの民衆のデモ、横田滋さん（北朝鮮拉致被害者、横田めぐみさんの父）の逝去、国会への「セクハラ禁止法案」の提出・・・と、人権問題に関するニュースがたくさん飛び込んでくるこの頃です。これらの話題に触れ、生徒のみなさんは何を感じ、何を考えるでしょうか。

少し前になりますが、先月15日は、国連が定める「世界家族デー」でした。みなさんは、「家族とは何？」と聞かれたら、どう答えますか？ 権利について学ぶとある授業のなかで、「家族のありかた」についての新聞記事を読んで感想を書いてもらいましたので、紹介します。記事には、同性同士の結婚（同性婚）を認めようべく奔走する、二人のシングルマザーの様子が描かれていました。



《感想より》

- ① 国を相手に訴訟をするということはそう簡単にできることではないと思うけど、小野さんと西川さんは複数の同性カップルを集め訴訟を起こしていて凄いなと感心しました。僕も言いたいことをしっかりと主張できる人間になりたいと思いました。
- ② 今の日本では同性同士は結婚できないけれど、いつか結婚という選択肢を持つことができる社会になってほしいと思いました。私は同性同士の恋愛も結婚も、とても素晴らしいことだと思っています。外国でも同性婚は認められているし、はやく法律の整備が進むといいと思いました。
- ③ 異性を好きになるのも、同性を好きになるのも、その人次第だと思います。偏見を持つ人が多いかもしれないけれど、異性との恋愛が当たり前になっているのであれば、同性との恋愛も当たり前になってほしいなと思いました。
- ④ 同性でないと結婚ができないことの大変さを知りました。皆の権利を大切にするというのなら、一人ひとりの思い描いた将来が実現されるのが良いと思います。

性の多様性を尊重することは、社会的に弱い立場にある人たちに思いを馳せることにつながります。また、幸せのかたちは人それぞれに違いますよね。自分の幸せとは何かを考えるとともに、他者の幸せについても考えてみませんか。そしてそれらを尊重し合える、学校生活や社会生活を送りたいですね。

●来週から、各学年**人権・同和問題に関するホームルーム活動**が始まります。これは、差別や偏見、自己理解・他者理解、他者との協働、コミュニケーションなどをテーマに、皆さんに人権について考えてもらうため行うもので、各学年、各学期に1回ずつ計画されています。1学期のテーマをお知らせしておきますね。皆さんの学びの様子や感想を、またこの便りでお伝えします。

【1学期 人権・同和教育に関するLHR（予定）】

1年生	6月23日（火）	仲間づくりとコミュニケーション 「形が合ったよ」
2年生	6月16日（火）	部落差別の歴史から学ぶ① ～解放令から考える～
3年生	7月7日（火）	就職差別から考える

（人権・同和教育推進スタッフ 森脇）